

希少猛禽類の車両衝突事故防止対策のための 「エゾシカ覆隠シート」の開発について

1. 概要

北海道内では、冬期を中心に種の保存法における国内希少野生動植物種に指定されているオジロワシ・オオワシが道路・線路近傍で車両と衝突し、負傷または死亡する事案が近年増加傾向にあり、車両衝突事故の防止対策が急務となっています。

オジロワシ・オオワシ等の車両衝突事故の多くは、走行中の車両に衝突して死亡した道路・線路近傍のエゾシカ轢死体に誘引されたオジロワシ・オオワシに車両が衝突してしまうことにより発生しているものと考えられています。

このため、釧路自然環境事務所及び(株)猛禽類医学研究所では、JR北海道釧路支社などの協力を得て、エゾシカ轢死体が回収されるまでの間にオジロワシ・オオワシが誘引されないようにシートで覆うとともに、エゾシカ轢死体を回収・運搬する際の省力化を図ることを目的とする「エゾシカ覆隠シート（以下「覆隠シート」という。）」の開発を令和4年度より進めており、この度、覆隠効果の確認並びに実用化に向けた検討・試行を経て、覆隠シートの試作版を製作しました。

2. 覆隠シートの開発について

(1) 覆隠シートの開発に当たっての要件

覆隠シートの開発に当たっては、車両との衝突事故が発生した場合、特定の限られた人員でエゾシカ轢死体の覆隠・運搬に対応しなければならないこと、オジロワシ・オオワシやエゾシカの生態等を踏まえた仕様にする必要があることから、覆隠シートの試作に当たって具備する要件（サイズ、構造、素材、機能性、色彩等）を以下のとおりとしました。

- ① オジロワシ・オオワシがエゾシカ轢死体を視覚的に認識できないよう全体を容易に覆うことが可能となるサイズ・構造・素材であること
- ② 車両走行上支障がないこと、さらに薄明薄暮でも作業がしやすいよう視認性が高く、オジロワシ・オオワシが警戒する色彩であること
- ③ エゾシカ轢死体を限られた人員で速やかかつ安全に覆隠・運搬できるよう、作業性や携帯性も考慮し、なるべく軽量でコンパクトになり、風の影響を受けにくい構造であること
- ④ エゾシカ轢死体を引きずって運搬すること等も踏まえ、現場の作業に耐えうる強度を有した素材であること

(2) 覆隠シートの試作版について

上記(1)の要件を踏まえ、釧路自然環境事務所及び(株)猛禽類医学研究所では、JR北海道釧路支社などの協力を得て、覆隠シートの試作版を製作しました。仕様等は、別紙のとおりです。

3. 今後の予定

令和5年度は覆隠シート試作版を複数製作し実証試験を進めるとともに、さらに必要な改良を実施し、覆隠シートの実用化を図っていく予定です。

〈エゾシカ覆隠シート試作版〉

仕様概要

サイズ

W: 1,550 mm

D: 840 mm

H: 320 mm

重量

530 g (収納袋込み 580 g)

素材

本体: 50D 高密度タフター
(蛍光オレンジ)

ロープ: クレナモ

